

令和5年
寄居町
二十歳式
—はたちしき—



二十歳式運営委員(青年委員)の皆さん

町では、1月8日に二十歳式(旧成人式)を開催しました。

民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳になったことに伴い、運営委員の皆さんと検討した結果、寄居町の成人式は引き続き二十歳の方を対象とし、名称を「二十歳式」に改めて開催しました。

今年、二十歳を迎えたのは306人。式には217人が出席し、人生の節目としての新たな一歩を踏み出しました。



桜沢



用土



市街地西部



鉢形

青年主役で開催する二十歳式

町の二十歳式は、19歳から21歳の町内3中学校の卒業生と、7地域公民館長、中央公民館長で構成された二十歳式運営委員会により運営されています。運営委員会では「自分達が主役の二十歳式」を創り上げるため、青年委員が昨年6月より会議を重ね、積極的にアイデアを出し合い準備を進めてきました。当日は、受付やアトラクション、式典の司会・進行等の運営にも当たりました。



男衆A



男衆B

新たな門出を祝う式典

式典では、伊東舞さんと菱沼百花さんが司会を務め、厳かな雰囲気の中、心に残る式典となりました。

今年の成人の誓いでは、萩原旭洋さんと今泉柚紀さんが代表して決意や夢を発表しました。

アトラクション

「あの頃の姿と今を重ねて」

長谷川晃士さんと萩原帆香さんの進行により、参加者へのインタビューとスライドショー鑑賞を行いました。インタビューでは、久々に再会した友人へのメッセージや近況報告、将来に向けての抱負などを話してくれました。

その後は、運営委員の皆さんが卒業アルバムなどから集めた写真で作ったスライドショーを鑑賞。小・中学校の頃の懐かしい写真に、会場は大いに盛り上がりました。

記念品

今年の二十歳式では、運営委員が皮をむき、絞り、瓶詰めした寄居町のみかんジュースを記念品として贈りました。



折原



阪神タイガース原口文仁選手の野球教室開催!

原口文仁後援会(ふれあう会)2022

12月25日に寄居運動公園で、寄居町出身の原口文仁選手による野球教室が後援会主催で開催されました。毎年実施されている教室ですが、今年度は寄居町スポーツ少年団40周年記念事業として実施していただきました。教室には、町内外の子どもたち約130人が参加し、キャッチボールや守備練習、ティーバッティングなどの指導を受けました。練習後、原口選手のフリーバッティングを見学した子どもたちは「力強いプロの技に魅了されていました。参加した子どもたちは「もっと練習して原口選手のように野球が上手になりたいです」と話してくれました。



馬場信幸さんが受賞されました!

厚生労働大臣表彰

馬場信幸さん(小川町)が、社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞されました。馬場さんは平成2年2月、秋山地区に社会福祉法人栄寿会を設立、平成3年4月には特別養護老人ホームあきやま苑を開設し、社会的責任の堅持、地域から信頼される施設づくりを経営指針の一つに掲げ、施設長として令和3年6月まで30年間勤務され、現在も理事長として高齢者の地域福祉の充実に尽力されています。今回の受賞について「妻と二人で福祉の種をまき、利用者、家族、地域、職員がみんなて耕し育てていただいた結果です。心より感謝いたします」と話してくれました。



高橋央成さんが関東大会に出場!

第46回関東地区空手選手権大会

12月10日に東京武道館で開催された第46回関東地区空手選手権大会に、錬心塾の高橋央成さん(寄居小5年・写真右)が出場しました。強豪選手がそろう中、熱戦を繰り広げ3回戦まで勝ち進みましたが、結果は惜しくもベスト16でした。高橋さんは「関東大会に出られてうれしかったです。あと1勝で入賞だったので正直悔しいですが、今の自分の力は出せたと思います。来年は道場のみんなと出場し、入賞できるようこれからも練習を頑張ります」と話してくれました。



寄居町消防団出初式開催!

地域の防火・防災を胸に

1月15日にかわせみ荘グラウンドで、消防団出初式が行われました。当日は小雨に見舞われる中、消防団員が一堂に会し、きびきびとした動作で点検を行い、統制のとれた行進を披露しました。津久井大雄団長は「『自分たちの地域は自分たちで守る』という郷土愛の精神のもと、地域住民の生命・財産を守るため消防団活動に取り組みましょう」と団員に向けて話しました。また、峯岸町長からは「当たり前のことであっても徹底的に取り組むという『凡事徹底』の心構えで、日々の防災活動にご協力をお願いします」と訓示があり、あらためて防火・防災への備えを誓いました。